



表紙の絵は、NPO 法人「子どもデザイン教室」で絵やデザインを学ぶ子どもたちに描いてもらいました。

親と暮らせない子どもたちを支援する同団体では、創作活動を繰り返すことで、幼少期から長期的に自立する力を育てる「子どもデザイン教室」による学習支援や、子どもたちと作ったキャラクターを企業に販売し、自立資金を貯金する「子どもデザイン基金」による学費支援などに取り組まれています。

NPO 法人「子どもデザイン教室」▶ <https://www.c0d0e.com/>



大阪ガス株式会社

〒541-0046 大阪市中央区平野町4丁目1番2号



皆さまからのたくさんの いいね! お待ちしています!

<https://www.facebook.com/osakagas.social.contribution/>



[発行] 2021年4月



大阪ガスグループは、Daigasグループへ。

Daigasグループの 社会貢献活動



Daigasグループの 社会貢献活動

2015年9月、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」に対して、企業の積極的な取り組みが求められています。Daigasグループでは、1981年(国際障害者年)に、「小さな灯」運動がグループ従業員の企業ボランティア活動としてスタートし、現在も従業員一人ひとりは、「良き企業市民」としての一層の自覚と行動が求められていると考えて活動しています。今後も、「小さな灯」運動をはじめ、活力あるまちづくりやNPO・団体との協働など、社会とのコミュニケーションを通じて、持続可能な地域社会の発展を目指すとともに、社会価値の創造に努めていきます。

地域の皆さまと共に“よりよい未来”を目指して

Daigasグループは、従業員による“小さな灯”運動を起点として、「地域社会と共に」「歴史・文化・まち」「スポーツ・健康」「安心・安全」「食」の5つの分野を中心に、地域の価値創造(地域共創)活動に取り組んでいます。



企業行動憲章 III Daigasグループ 企業行動憲章 社会とのコミュニケーションと社会貢献

Daigasグループは、自らの企業活動を世の中に正しく理解していただくため、情報を積極的に公開し、経営の透明性を高めます。そして、幅広いステークホルダーとの建設的な対話を通じ共創を推進します。また、良き企業市民として、地域社会に貢献するよう努めます。

Daigasグループの社会貢献活動を通じたSDGsへの貢献

7 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

11 11. 住み続けられるまちづくりを

17 17. パートナリシップで目標を達成しよう

「持続可能な開発目標 (SDGs)」には17の目標が掲げられており、そのうち「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「11. 住み続けられるまちづくりを」「17. パートナリシップで目標を達成しよう」は、憲章IIIに関連するゴールです。今後もSDGsの達成に向けてグループを挙げて取り組んでいきます。

持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals (SDGs) とは

持続可能な開発目標 (SDGs) は、2015年9月に国連本部で開かれた国連持続可能な開発サミットにおいて採択された「私たちの世界を変革する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた目標です。ミレニアム開発目標 (MDGs) に続く目標として、途上国だけでなく先進国も念頭におかれた17の目標と169のターゲットで構成されています。

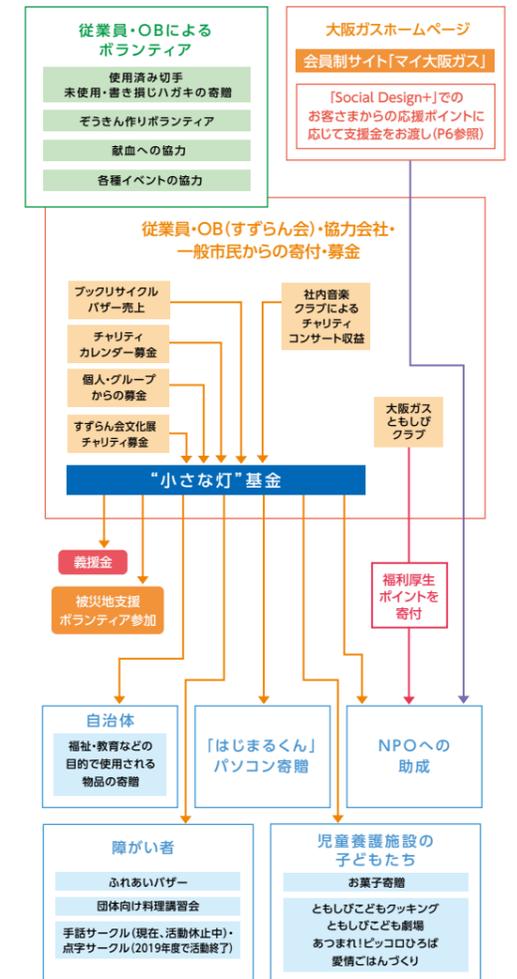


Daigasグループ“小さな灯”運動は社会貢献活動を支えるマインドの源流です。

■ “小さな灯”運動の歩み

1981	1981年4月 1981年8月 1981年10月～	“小さな灯”運動発足 児童福祉施設の子どもたちを ポトピア博に招待 古書チャリティバザー開始	
1982	1982年12月～	盲学校に点字カレンダー・点字訳本寄贈開始	
1987	1987年3月～	「ともしびこども劇場」開始	
1992	1992年7月	ボランティア活動体験セミナーを実施	
1995	1995年1月～2月	阪神・淡路大震災でのボランティア活動 ●TONVO(活動) ●義援金の募集 ●仮設風呂シャワー隊運営応援	
1996	1996年9月	ボランティア功労者厚生大臣表彰受賞	
1997	1997年1月	福井県沖タンカー重油流出事故の 重油除去活動に参加	
1998	1998年1月～	「癒しの音楽」シリーズ開始	
2006		25周年記念事業 ●「子ども支援市民活動助成プログラム」実施	
2007	2007年8月～	「ともしびこどもクッキング」開始	
2011		30周年記念事業 ●「子ども支援市民活動助成プログラム」の実施 ●「社会貢献フォーラム」の開催 ●「30周年記念音楽会」の開催 東日本大震災・台風12号(奈良県・和歌山県)被災地支援 ●義援金の募集 ●ボランティアバスプログラムへの参加	
2012		「御堂筋東北復興支援バザー」開始 京都府南部豪雨被災地(宇治市)支援 ●義援金の募集 ●現地ボランティアへの参加	
2013		台風18号被災地支援 ●義援金を募集し会社と共同で京都府・京都市・滋賀県へ寄付	
2014		平成26年8月豪雨被災地支援 ●義援金の募集 ●現地ボランティアへの参加(福知山市・丹波市)	
2015		Social Design+開始 (P6参照) 「ソーシャルデザインフォーラム」の開始	
2016		熊本地震被災地支援 ●義援金の募集 ●現地ボランティアへの参加	
2017		あつまれ!ピッコロひろば 開始 ともしびこどもクッキングでの和食だし 体験講座の実施	
2018		「Daigasグループ“小さな灯”運動」へ名称変更 大阪府北部を震源とする地震被災地支援 ●義援金の募集 平成30年7月豪雨災害被災地支援 ●義援金の募集 ●現地ボランティアへの参加	
2019		令和元年10月台風19号災害被災地支援 ●現地ボランティアへの参加	
2020		「企業フィランソロピー賞 【つなぐ灯(ともしび)賞】」を受賞 (主催:公益社団法人日本フィランソロピー協会)	

■ “小さな灯”運動の仕組み



■ ロゴマークの由来



“小さな灯”運動のシンボルマークは、昔ガス燈が普及し始めた頃に使われていた「火屋(ほや)」に似た形の花、すずらん。火屋とは炎が消えないように覆い包むガラス製のカバーのこと、すずらんの花言葉は「いっばいの善意・愛」です。

■ マスコットキャラクター「ほむテン」



大阪ガス創業110周年を記念して、児童養護施設の子どもたちから“小さな灯”運動のイメージキャラクターとその愛称募集を行いました。応募総数227点(25施設)の中からグループ従業員約400名の投票により「ほむテン」に決定しました。

to be continued...

活動内容



地域社会と共に

地域の皆さまと共によりよい社会を

従業員によるボランティア活動

チャリティカレンダー募金

1977年からグループ従業員、OB、その他関係先、お客さまなどに協力を呼びかけチャリティカレンダー募金を行っています。集まった募金は、Daigasグループ“小さな灯”運動の活動資金として役立てるとともに、各地域の社会福祉活動や被災地復興に携わる団体・施設や自治体などに寄贈しています。



自治体への寄贈

Daigasグループ“小さな灯”運動基金より拠出して、大阪ガス供給区域内の全自治体に対し高齢者及び児童に対する福祉や教育などの目的で使用される物品(車いすや健康器具、絵本など)を寄贈しています。



大阪ガスともしびクラブ

会社の福利厚生の仕組みを活用して従業員に寄付の機会を提供する取り組みで2009年から実施しています。毎年会社から従業員に付与される福利厚生のポイントを、社会的課題の解決に取り組んでいる団体に従業員が個人の意思で寄付する仕組みです。



マラソンボランティア

地域活性化支援を目的として、関西で開催される市民マラソン(大阪、神戸、京都、奈良など)に毎年多数のボランティアが参加しています。それぞれの活動エリアに分かれて沿道整理、誘導、給水活動など積極的に大会運営を支えています。



地域での環境美化活動

大阪ガスビル周辺、大阪ガスの各事業所、グループ会社事業所周辺において従業員が定期的に、継続的に清掃活動を行っています。



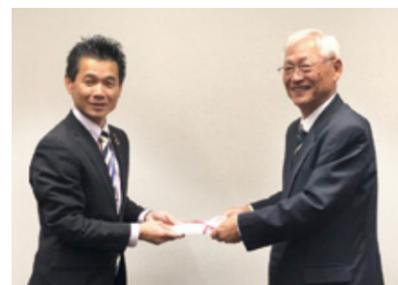
さまざまなボランティア活動

バザーで販売する古書や中古DVDの収集、海外の医療協力などを行うNGOの活動支援のための使用済み切手の収集、東日本大震災における県外避難者を支援する団体などの通信費として活用いただく未使用ハガキ・書き損じハガキの収集などに取り組んでいます。



大阪ガスすずらん会(大阪ガスOB会)による活動

毎年秋に開催のすずらん会文化展の収益金寄贈をはじめ、さまざまな募金活動にもご協力いただいています。また、「すずらん会ボランティア倶楽部」の皆さんは、市民マラソンや各種チャリティイベントなどの運営をサポートするボランティアスタッフとして活動しています。



運動クラブ活動

スポーツ振興及び次世代育成のため、硬式野球部、陸上競技部、ラグビー部、バレーボール部、サッカー部などが、各競技の教室などを開催しています。



文化クラブ・サークル活動

合唱部やマンドリンクラブでは、定期的な高齢者施設での演奏会や、被災地支援などを目的としたチャリティコンサートを開催しています。また、吹奏楽部ではチャリティイベントで演奏を行っており、手話サークルはイベントでの手話通訳などの活動を行っています。



障がい者とともに

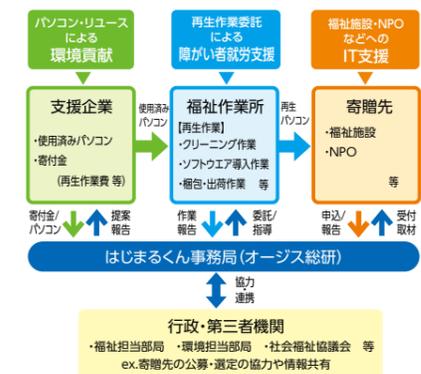
ふれあいバザー

障がいをもつ方々の社会参加を目的として、大阪ガスビル御堂筋沿いのスペースおよびビル内フラムテラスを出店の場として提供し、福祉施設などで作られた焼き菓子や雑貨などを販売いただいています。また、循環型社会の実現を目指す市民ボランティア団体によるリユース品の回収、販売なども行っています。



はじまるくん

「はじまるくんパソコン寄贈プログラム」は、(株)オージス総研が中心となって取り組んでいる活動で、パソコンリユースによる環境貢献をベースに、再生作業委託による障がい者の就労支援と寄贈先におけるIT支援を目的とした社会貢献活動です。



2019年3月末に「はじまるくんパソコン」の寄贈累計台数が3,000台を突破しました。

ハートボールプロジェクト

硬式野球部は、福祉作業所への就労支援、ボールのリサイクルによる環境貢献、地元高校の野球部に修繕済みボールを寄贈する現物支援を通じた地域社会の活性化に取り組んでいます。練習などで使えなくなった硬式ボールを、障がい者の方が働く福祉作業所で有償で修理いただき、再生されたボールを西宮市内の高校の野球部に贈呈しています。2017年度は、寄贈ボールが2,000球に達したことを記念して、硬式野球部、西宮東高校野球部、ジョブステーション西宮、にしのみや聴覚障害者センターが参加し寄贈式を行いました。



活動内容



地域社会と共に

地域の皆さまと共によりよい社会を

被災地支援

被災地復興支援バザー

東日本大震災翌年の2012年から、被災地の復興を継続的に支援するため、(株)りそな銀行さま、明治安田生命保険相互会社さまとともに開催。大阪ガスビル御堂筋沿いのスペースを会場として、被災地の特産品や障がい者福祉事業所で作られた製品を販売するほか、パネル展示などによる防災に関する啓発活動を行っています。



災害義援金の寄贈

大規模災害の発生時、募金活動を通じて被災地を支援しています。2011年に発生した東日本大震災、2016年熊本地震、2018年大阪北部地震、平成30年7月豪雨災害に対して、グループ従業員・OBから義援金を募集するとともに、お客さまからも義援金をお寄せいただきました。



災害被災地支援ボランティア活動

大規模災害の発生時、現地ボランティア活動を通じて被災地を支援します。



これまでの活動

- 1995年 阪神・淡路大震災
- 2002年 法善寺横丁火災
- 2004年 新潟中越地震・台風23号水害(豊岡市など)
- 2004年 スマトラ沖地震
- 2011年 東日本大震災
- 2011年 台風12号(奈良県、和歌山県)
- 2012年 京都府南部豪雨
- 2013年 台風18号(京都府、京都市、滋賀県)
- 2014年 平成26年8月豪雨(広島市、福知山市、丹波市)
- 2015年 城崎温泉火災
- 2016年 熊本地震
- 2018年 大阪府北部を震源とする地震
- 平成30年7月豪雨
- 2019年 令和元年10月台風19号

NPOとの協働活動・ソーシャルデザイナーへの支援

ウェブマガジン「マイプロSHOW CASE関西編」の運営

ウェブマガジン「greenz.jp」を運営するNPO 法人グリーンズさまとともに運営し、関西におけるNPOや団体などの地域活性化のプロジェクトを紹介しています。大阪ガスでは「マイプロジェクト＝自分ごとから始まる社会課題解決」の実践者たちを、関西のコミュニティをともに元気づけてくれるパートナーと位置づけ、その活動を社会に発信し、さまざまなステークホルダーとの協働を目指します。



マイ大阪ガスのコンテンツ「Social Design+」の運営

会員制サイト「マイ大阪ガス」において、関西を拠点として社会課題の解決に取り組んでいるソーシャルデザインの担い手たちを応援する企画を2015年度から展開しています。会員の皆さまからの応援ポイントに応じて支援金をお渡ししています。



ソーシャルデザインフォーラムの開催

グループ従業員を対象に、関西で活躍するNPOや社会起業家の方々にご登壇いただき、多様な活動事例を共有するとともに、ソーシャルデザインを理解して自らも身近な社会貢献に踏み出すことを目的に、毎年開催しています。



グループ従業員の社会貢献マインド醸成

コミュニティギフト制度

従業員または従業員の家族が所属し、さまざまな人々がいきいきと活動できる社会や地域づくりを目指す社会貢献活動に取り組んでいる団体に対して、申請者を通じて、活動資金を援助する制度です。



ボランティア休業制度 コミュニティ休暇制度

従業員の自発的な活動を支援するため、会社が認めたボランティア活動・社会貢献活動に参加するための休業や休暇を取得する制度です。期間中はそれぞれ休職扱いや休暇扱いとなります。



地域社会貢献表彰制度

積極的なボランティア活動や、地域社会の課題解決に対して貢献し、その功績が大きい従業員に対して1年に1回表彰を行う制度です。



ダカラソククリエイト

働く世代のがん経験者が、自分たち「だからこそ」できることを模索し、形にするプロジェクトです。「がん経験を新しい価値に変えて社会に活かす」をテーマに社会課題の当事者による価値創造を目指して2015年から実施。ワークショップをベースに当事者視点でのイベントやプロダクトの企画プロデュースを行っています。大阪ガス従業員が発起人・世話人となっています。



南大阪子育て支援ネットワーク

2013年、地域の子育て支援を担う主体として大きな役割を果たし、南大阪地域を中心に活動するNPOの4団体*と大阪ガスは、南大阪子育て支援ネットワークを設立。地域や行政、NPO、企業が連携しながら「共同子育て」の実現を目指して活動しています。

*NPO法人 SAKAI子育てトライアングル(堺市)・NPO法人 えーる(貝塚市)・NPO法人 やんちゃまファミリーwith(松原市)・NPO法人 SEIN(堺市)



NPOなどとの協働活動

地域活性化への貢献を目的として、自治体をはじめ地域コミュニティやNPO、社会起業家などとも協働しています。またコロナ禍においては、社会活動団体の再スタートの一助とするためのオンライン番組「Re スタート!」の配信や「つながるガステん」などオンラインイベントと連携した支援プロジェクトを行い、社会課題の解決に取り組んでいる団体を応援しています。



活動内容



歴史・文化・まち

地域の魅力を発掘し誇りと愛着のあるまちへ

OMS戯曲賞

1985年から2003年まで、旧社屋を活用した複合文化施設「扇町ミュージアムスクエア (OMS)」を運営し、演劇を中心とした若者文化の発信に取り組んでいました。そのOMSの10周年にあたる1994年に、記念事業の一環として「OMS戯曲賞」を創設し、現在も若手・中堅劇作家の発掘・支援を目的として継続しています。次代を担う新しい劇作家を発掘だけでなく既に評価を得ている方にも活躍の場を与えることを目指しており、関西における演劇・戯曲創作を支援する賞として評価されています。



イストワール

関西に実在した人物や実際に起こった事件などを題材にしたドラマシリーズです。関西の劇作家育成と、地域に眠る物語の発掘・開発・伝承を目的に、OMS戯曲賞の最終選考に残った劇作家がドラマを書き下ろし、人物ゆかりの地で公演を行っています。



スポーツ・健康

スポーツによる健康なまちづくりを目指して

NOBY T&F CLUB

「NOBY T&F CLUB」は、大阪ガス従業員であり北京五輪メダリストの朝原宣治が主宰する陸上競技クラブです。「スポーツを通じた青少年の健全な成長」と「次世代を担うトップアスリートの育成」などを目的として、さまざまな運動プログラムを提供しています。



Talkin'About

ある決められたテーマについて興味・関心を持った人たちが集い語り合う「サロン」です。参加者が情報を交換し、ネットワークを広げ、新しいアイデアやコラボレーションを生み出していく場づくりを目指しています。



Walkin'About

参加者の方々に思い思いにコースを辿っていただき、見聞や体験を発表し、共有する「まち観察」企画です。地域課題を再発見し、地域のあり姿をデザインすること、また地域の魅力創出、コンテンツ創作为目的としています。



語りベシアター

都市が持つ歴史的・文化的資源をテーマごとに物語として編集し、音楽や映像とともにわかりやすく発信しています。関西に住む人に地元の魅力を知っていただきたいと考え、地域の活性化を目指して活動しています。オンラインでの配信も開始しました。



安心・安全

大切なものを守るためにできること

エネルギー環境教育

2006年度から、地球環境意識の高まりを背景に、エネルギーと地球環境問題について次世代を担う子どもたちとともに考え、理解を深めることを目的に、「エネルギー環境教育」を実施しています。従業員やOBが講師となり、「エコ・クッキング」などプログラムを活用して、年間約200校を訪問して授業を行っています。



火育



安全な火のおこし方や扱い方、火を使った調理など、子どもたちが「火に親しみ、火を学ぶ」体験を通じて豊かな心を育み、生きる力を高めることを「火育(ひいく)」と名づけ、体験型プログラムや学習プログラムとして展開しています。



食

「食」を通じて人と地域を豊かに

食育活動



「いただきます」で育もう。」をスローガンに食育活動に取り組んでいます。(株)大阪ガスクッキングスクールとともに長年培った食育コンテンツや社外専門家などとともに取り組んできた活動に加えて、和食だしを中心とした日本型食生活の啓発につながる「体験型」の幅広い活動が評価され、2018年には、「第2回食育活動表彰」において農林水産大臣賞を受賞しました。



地産地消クッキング

大阪産(おおさかもん)をはじめとする地域の農作物や食材を啓発するために、自治体や各種団体と連携した料理教室などを展開しています。

食育教材『なぜ?なに?食育BOOK』配布

小学校高学年の子どもたちが食の大切さを理解し、健康で豊かな食生活について学ぶようにわかりやすくまとめた冊子です。先生方のための「指導のてびき」も用意しています。2008年から地域の小学校に27万冊配布しています。



防災教育



東日本大震災以降、防災教育の必要性が高まったことを受けて、2014年から小学校高学年を対象としたオリジナル防災教材「考える防災教室」を制作し、地域の小学校に配布しています。2020年1月には改定第3版を発行し、配布開始からの7年間で総数は18万冊を超えました。また、小学校や地域団体からの要望を受けて、防災出張授業も行っています。本活動は、(公財)消費者教育支援センター主催の「消費者教育教材資料表彰2018」の企業・業界団体部門において、優秀賞を受賞しました。



防災クッキング

自然災害などの非常事態に備え、ライフラインが止まったときを想定して、缶詰・乾物などの長期保存が可能な食料を使った調理のレシピ・方法を紹介しています。もしものときを乗り切るために、非常食の備え方や災害時に貴重となる水を節約するクッキングなど、親子でも楽しく学べる機会を(株)大阪ガスクッキングスクールとともに提供しています。



和食だし体験講座

食を取り巻く環境の変化への対応や子どもたちの食生活の改善への貢献を目的として、和食のユネスコ無形文化遺産登録を契機に、和食だしによる健康的で豊かな食文化の継承をねらいとした講座を出張授業の形で2017年度に開設しました。本活動は、2018年度文部科学省「青少年の体験活動推進企業表彰」の審査委員会奨励賞、2019年度厚生労働省「健康寿命をのばそう!アワード」こども家庭局長賞を受賞しました。



ウィズガス全国親子クッキングコンテストの近畿大会開催



活動内容



Daigasグループ“小さな灯”運動

グループ従業員によるボランティア活動

ともじびこどもクッキング

普段、料理をする機会が少ない児童養護施設の子どもたちを招待し、調理することの楽しさや食の大切さを学びながら将来の生きる力を育むことを目的に開催しています。



ともじびこども劇場

1987年から、夏休みの思い出のひとつにしてもらうとともに、舞台芸術を楽しんでもらい、情操教育の一助になることを目的に、児童養護施設の子どもたちを兵庫県立ピッコロ劇団のファミリー劇場に招待しています。



お菓子寄贈

毎年定期的に、グループ従業員らが児童養護施設の子どもたちに贈るお菓子を作っています。できあがったお菓子は、各地区の窓口を通じて、地域の児童養護施設に寄贈しています。



あつまれ!ピッコロひろば

2017年度より、児童養護施設の子どもたちの自己肯定感とコミュニケーション能力の向上を目的に、「演劇手法」を用いたワークショップを兵庫県立ピッコロ劇団さまとともに開催しています。



愛情ごはんづくり

地域の児童養護施設の子どもたちに、自分で食事を作る力を育み、手作りの料理で食卓を囲む喜びを感じてもらうことを目的に開催しています。



献血活動・骨髄バンクドナー登録

大阪ガスビルをはじめとした各事業所において、赤十字血液センターさまおよび関西骨髄バンク推進協会さまにお越しいただき、献血および骨髄バンクドナー登録の推進に協力しています。



持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献

社会の課題にエネルギーで応える

Daigasグループは、持続可能な社会の実現に向け「Daigasグループ企業行動憲章」に基づいた活動を実践するとともに、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。

エネルギービジネスを中心に事業を展開するDaigasグループにとって、気候変動の問題にかかわる温室効果ガス排出削減の取り組みは極めて重要な使命と考え、2021年1月には「Daigasグループカーボンニュートラルビジョン」を策定しました。

さまざまなステークホルダーとの協働による技術・サービス開発を行い、省エネルギーなまちづくりをはじめ、再生可能エネルギーの利用拡大、最先端のエネルギー機器の普及、LNG利用普及などの海外事業展開など、取り組みを進めています。

Daigasグループは、総合エネルギー事業者として、気候変動への問題に取り組んでいきます。持続可能なエネルギーの創出を通じて産業発展やまちづくりに貢献していきます。



Daigasグループは、お客さま、株主さま、機関投資家の皆さまをはじめとするステークホルダーに対して、社会貢献や環境にかかわる取り組みも含めたサステナビリティの取り組みについて、毎年、「DaigasグループCSRレポート」にて報告しています。詳細の内容については、ウェブサイトでご確認ください。 CSRレポート: <https://www.osakagas.co.jp/company/csr/>



環境

環境との調和と持続可能な社会への貢献

製造所における地域性種苗などを用いた緑地管理

都市ガスの製造所では、生物多様性に配慮した緑地整備を進めています。泉北製造所の「泉北の社(もり)」では、地域性種苗による植栽を推進しています。姫路製造所のピオトープでは、西播磨の地域性種苗で構成した里山、草原、水辺を再現し、キキョウ・フジバカマなどの希少種を保全しています。



子どもたちへの生物多様性教育

泉北製造所では、地域の小学校の子どもたちとともに国際的な環境教育運動「グリーンウェイブ」に参加しています。2015年度より、食育や環境教育の一環として食と住まいの情報発信拠点「hu+gMUSEUM(ハグミュージアム)」の屋上に設けた約100m²の水田で、地域の小学校の子どもたちが田植えから稲刈り、刈り取ったお米でご飯を炊く体験をしています。



実験集合住宅「NEXT21」における生物多様性を配慮した取り組み

都市における緑地の復元と環境共生を目指す実験集合住宅「NEXT21」では、住棟内の緑地を整備したり、屋上東側エリアの緑地を保全しています。



財団の取り組み

福祉活動と国際貢献を継続的に発展させるために

(公財)大阪ガスグループ福祉財団

1985年にDaigasグループ各社の寄付で設立され、「高齢者を対象とした福祉活動や調査・研究への助成事業」と「高齢者の健康維持・増進を目指す健康づくり事業」を両輪に、近畿2府4県で活動しています。



(公財)大阪ガス国際交流財団

1992年に大阪ガスが基本財産を全額拠出して設立し、2010年に、内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行しました。財団の事業活動を通じて天然ガス産出国との相互理解をより一層深め、国際貢献に資することを目的に助成事業に取り組んでいます。

